

授業科目	構音障害Ⅱ（機能性）				
担当者	吉田紀子・松本治雄				（オムニバス）
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

機能性構音障害の指導に必要な基礎知識を学ぶ。
 構音の評価および結果の分析、指導のすすめかたについて演習を中心に学ぶ。

■ 到達目標

- ・ 構音発達の過程と機能性構音障害について理解する。
- ・ 構音を正確に聴き取り記録することができる。
- ・ 構音障害の検査、結果の分析、構音指導を立案・実施することができる。

■ 授業計画

- 第1回 機能性構音障害とは（吉田）
- 第2回 幼児期の構音発達（吉田）
- 第3回 構音の聴き取りと記録（吉田）
- 第4回 機能性構音障害における構音の誤り①（吉田）
- 第5回 機能性構音障害における構音の誤り②（異常構音）（吉田）
- 第6回 構音検査（実習）（吉田）
- 第7回 構音検査（結果の分析）（吉田）
- 第8回 指導プログラムの立案（吉田）
- 第9回 構音別の指導方法（吉田）
- 第10回 ケーススタディー①（吉田）
- 第11回 ケーススタディー②（吉田）
- 第12回 事例紹介（松本）（吉田）
- 第13回 事例紹介（松本）（吉田）
- 第14回 事例紹介（松本）（吉田）
- 第15回 事例紹介（松本）（吉田）

■ 評価方法

筆記試験100%、なお出欠および授業態度を考慮する

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

■ 教科書

書 名：言語聴覚療法シリーズ 改訂機能性構音障害
 著者名：本間慎治
 出版社：建帛社

■ 参考図書

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

--